

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	高松第一高等学校改築基本構想検討懇話会（第6回）
開催日時	平成26年5月30日（金） 16時00分～17時25分
開催場所	高松第一高等学校 2階大会議室
議 題	(1) 懇話会委員の変更について (2) 会議記録の確認について (3) パブリックコメントの結果について (4) 改築基本構想（案）について (5) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	池内委員、菅委員、白石委員、高木委員、多田野委員、橋本委員、松本委員、若井委員
傍聴者	0人 （定員 5人）
担当課および 連絡先	高松第一高等学校 861-0244

会議の経過および結果

開 会

(1) 懇話会委員の変更について

事務局 委員の変更についての説明

(2) 会議記録確認について

事務局 前回会議の会議内容の確認

(3) パブリックコメントの結果について

事務局 市民等からの意見（要旨）と、その意見に対する市の考え方についての説明

〇〇委員 パブリックコメントとはどういうものか。
また、6人から意見があったが、意見の数としては少ないような気がする。

事務局 パブリックコメントの概略を説明。
今回、28件の意見があった。昨年度、本市で実施したパブリックコメントのうち、1番意見が多かったものは31件で、今回はそれと同程度の件数があった。

〇〇委員 野球練習場を敷地内に取り込むとなると、相当の面積が必要になるが、他の部活動との共存ということになるのか。

事務局 現在、野球部の練習は南部運動公園のグラウンドを優先使用させてもらっているところであるが、改築時に合わせて、敷地内の設置を検討することとなっている。このことにより、学習環境に影響が出るようであれば、一定程度の校舎の高層化等を検討する必要があるが、どの程度の面積を野球の練習場に充てるかは、今後の課題である。

〇〇委員 最近では野球よりサッカーの人気の高いように思う。いずれにしろ1日7時間授業であれば、ほとんど練習ができない。各部との折り合いになってくると思う。

〇〇委員 栗林小学校では、運動場の芝生化を進めているが、一高での芝生化は考えていないのか。

事務局 芝生は手入れが大変であり、芝生がはげた場合は、その部分を使用禁止にしなければならないと思う。

〇〇委員 ヨーロッパと日本とでは、芝の種類が異なる。ヨーロッパの芝は比較的柔らかく、逆に日本の芝は硬く、摩擦で火傷のような怪我をすることもあと聞いている。日本の気候では芝の維持管理が難しい。

事務局 市内の小学校では芝生化を進めており、既に牟礼、屋島西など6校が芝生化を実施し、保護者からも好評である。一方で相応の維持費は掛かっている。

〇〇委員 栗林小の場合も、いろんな意見があった。児童の中にはアレルギーを持つ子もいるので、なかなか難しい。

〇〇委員 意見8に対する市の考え方が、今後、高松市の15歳人口は概ね同数で推移するが、県全体では減少傾向となると予想されている。県全体のバランスにも留意すると言いながら、1学年8クラスの学校規模を確保するという事は、アンバランスではないか。

事務局 県教育委員会において、毎年度、入学定員を決めているが、施設規模として、1学年8クラスを想定している。

〇〇委員 プールは作る事になったのか。

事務局 災害時にもプールの水を水源として対応できるようにする必要があることから、25メートル程度のものを作る方向で検討している。

〇〇委員 高層化に反対する意見があるが、いつの段階で公表するのか。

事務局 基本設計の段階で何階建になるか決まってくる。野球場を敷地内に確保した場合は、一定規模の高層化が必要になってくるが、日照権の問題もあり、民地に近い建物を低層にし、敷地の中心部の建物を高層にするような工夫も必要と考えている。建物のレイアウトによって影響が大きく変わってくると思う。

〇〇委員 環境問題は日照だけでなく、騒音の問題もある。

事務局 民地の近くに打撃練習場を持ってくると音の影響が出るかもしれないが、具体的な検討はもう少し先になると思う。

〇〇委員 以前の新聞報道では、具体的な数字は出ていなかったが、10階程度の建物になるのかなという感じがした。

事務局 8階以上の校舎を建てると、野球のフルグラウンドの設置が可能になると思うが、現実的には、そこまでの建物にはならないと思う。

〇〇委員 意見12の「子供たちが静かに勉強できる環境」というのは、周辺の子供たちの環境ということではないか。栗林小学校の保護者から心配する声が出ていた。

(4) 改築基本構想素案について

〇〇委員 敷地の北側の道の拡幅工事は進んでいるのか。

事務局 工事は遅れ気味ではあるが、順次進んでいるようである。
また、現在の正門の位置についてだが、現在は琴電を利用する生徒が多いが、以前はJR通学の生徒が多かったため、現在の位置にしたのではないかと思う。

〇〇委員 正門の位置は考えていく必要がある。

〇〇委員 自分が学生時代の一高は、自由な校風というイメージがある。一高卒の友人がいるが、とても面白い発想をする人である。この校風はこれからも続いていけばよいと思う。また、そういったイメージが湧くようなデザインの建物がよい。

〇〇委員 先進校視察で行った京都堀川高校だが、難関大学の進学率も高く、玄関も含め建物も立派であった。ぜひ、あのような施設を作っていただきたい。

〇〇委員 現在、一高はSSHの指定を受けて、力を注いでいると思うが、今後、国の予算が切られるようなことがあっても、このような教育が継続できるように、実験室な

どの環境は整備しておくことが大切である。

〇〇委員 英語の授業以外で、英語で授業を行うようなこともしていると聞いている。幅広いコミュニケーション能力の育成は大切である。

〇〇委員 アンケート調査でも多くの方が進学校を希望しており、今後もその特徴を伸ばしていけばいいと思うが、高校時代には演劇に限らず身体表現を取り入れていくことも大事である。

また、学校施設の中で、門は非常に大切な部分である。初めて来る人がどこから入っていいのかわからないような門ではいけない。

(5) その他について

事務局 今後の改築までのスケジュールについて説明

〇〇委員 同窓会への説明はあるのか。

事務局 同窓会や地域等にも十分に説明して進めていきたい。

閉 会 (1 7 : 2 5)